**公用車クラウンに文句 レクサクに乗りかえた石破大臣**

* 2015年3月31日
* [Ads by Yahoo! JAPAN](https://feedback.promotionalads.yahoo.co.jp/fdbk?p=aFlM7aQeImF7vp38YLuRdnyMOHn6jflfpplWeGPEHSvc7dHzFuKTPFko3t6TVg--&a1=im4kAOYaIzhyjAzSb9MEaxkwyWO9.FRiHWT.gfuqa5leaV5pseIMgi9GAYnbUg--&a2=iSosFXEaIzg4kd.n5_6hCEaJLl53qtL3YwXPgG_ezE0qHZakGF3oEC9shOIr8A--&a3=35GER_caIziP3zcBl2790Gu.lghGgUcRPG3SfXtQHksJnqTy8YtGzwNOr59PAw--&a4=b81fgEwaIziUZVDnUm808_Uk8SZflX3q126AZSBKLxbIfDtqLrUFrIQlu1i4QA--&a5=gKWdNmEaIzg_gNx_0sFBm0uqGOUxSQOd74IVJQ6aW76octOe8.DrgvjbFpokPw--&a6=QfzrV7IaIzh.KT36T1Wuv6MH2tkpeKL8mxW0hsHO_lQ53H18_.cVVbGiz3vdqA--&a7=dYEoaRUaIzhHZ1VWT3RgVVFDKUu6pVlhFXZ5esTkbcY_1TAkECoXzKJgZYW7Pg--&a8=ZlyB_a4aIzjM9QPvhtNpoERYLRmtLAxOmXg3ShSTHpkcv17e4P189BNNlxB5Qg--&a9=mEYD1EcaIziky6AldWHEG8LnciXXH.fLL0IojeXxl_wz7suxnOFbpKtKQJ22BQ--&c=.OF6Cq4dJitQbOKRVqVdkzf.zIRWwSV0mhq7eKj8wdU441oauud7lg--)

[石破大臣のレクサスは約１１００万円（Ｃ）日刊ゲンダイ](http://www.nikkan-gendai.com/articles/image/news/158523/19209)

　庶民には厳しく、自分たちには大アマな安倍内閣の金遣いが明らかになった。３０日の衆院予算委で民主党の玉木雄一郎議員が、閣僚の公用車について質問。石破茂地方創生担当相が、高級公用車を短期間で乗り換えていた事実を指摘した。
　それによると、石破は内閣府が１３年１１月に購入した公用車のトヨタ「クラウン」を、たった１年３カ月で“乗り捨て”。今年２月に月３９万円のレンタカー代を支払ってトヨタ「レクサスＬＳ４６０」に乗り換えた後、さらに３月、今度はワンランク上の「レクサスＬＳ６００ＨＬ」を購入したという。
　内閣府の運用ルールでは、大臣の公用車は「１２年間使用か、１０万キロ走行」をメドに買い替えるのが一般的で、わずか１年余りで乗り換えるなんて聞いたことがない。しかも、クラウンは新車で約５００万円で、レクサスはその２倍の約１１００万円もする。庶民はカツカツの生活費で暮らしているのにフザケた金銭感覚ではないか。

予算委で玉木議員に追及された菅官房長官は「日本の技術力の高さを発信するため。購入前に運転手の習熟度を高めるため、まずはレンタルにした」などと、意味不明な答弁を繰り返していたが、まったく説明になっていない。
「石破さんは農相の時、トヨタの最高級車『センチュリー』が公用車だったが、地方創生相はクラウン。そのため、『なぜセンチュリーじゃないんだ』とダダをこねたらしい。慌てた内閣府が『ＬＳ６００ＨＬ』の購入を決めたが、石破さんは納車までの２カ月間がガマンできず、やむを得ず『ＬＳ４６０』をレンタルしたようです」（永田町事情通）
　あらためて玉木議員に聞くと、こう言った。
「国の借金が１０００兆円を超える中、政府の要職にある人間は節制に努め、身を正すべきです。石破大臣は認識が甘いと思います」
　庶民には消費税増税や軽自動車税増税を強いておきながら、自分たちは高級車で贅沢三昧。公用車なんて全廃するべきだ。